

## 夏秋トマト葉かび病耐病性品種「桃太郎なつみ」の特性

### 【1 成果の概要】

- 「桃太郎なつみ」は、強い葉かび病耐病性を有する品種です。
- 商品果収量は、「桃太郎8」をやや下回りますが、中段花房の収量は増収する傾向があります。
- 糖度、酸度は「桃太郎8」よりやや劣りますが、硬度は同等以上となります。
- 花房間長は「桃太郎8」より短くなります。

### 【2 品種の特性は？】

#### 1 商品果収量、品質

- 商品果収量は桃太郎8をやや下回り、上位規格品率は19%~23%程度です。
- 個数は「桃太郎8」と同等以上ですが、1個重量は「桃太郎8」より小さくなります。
- 中段花房の商品果収量は「桃太郎8」を優ります。

#### 2 果実品質

- 果形は「桃太郎8」とほぼ同じです。
- 「桃太郎8」より糖度・酸度はやや劣りますが、硬度は同等以上となります。

#### 3 生育特性

- 花房間長が短く、つる下げ作業の省力化につながります。
- 他の品種に比較して、強い葉かび病耐病性を示します。



写真 トマト葉かび病

### 表 品種の特性評価

	商品果収量 (対比%)	1果重量 (g)	糖度 (Brix%)	酸度 (%)	硬度	花房間長 (平均 cm)	葉かび病耐病性
桃太郎8(対照)	100(基準)	180~190	5.5~5.9	0.4~0.7	○	27~28	—
桃太郎なつみ	95~99	170~180	5.4~5.7	0.5~0.8	○~◎	24~26	Cf-9

※果実硬度 評価(5段階) ●:硬い ◎:やや硬い ○:普通 △:やや軟い ×:柔い

### 【3 この品種を利用する場合の留意事項】

- 1 1段花房の着生位置が「桃太郎8」より低くなりやすいので、育苗期の温度確保に努めます。
- 2 低段花房果実の花痕部が大きくなりやすいので、育苗期から定植後の保温に努め、初期の草勢が強勢にならないようにします。また、芯止まり症状が発生しやすいので、肥培管理に留意します。
- 3 裂果の発生がやや多いので、かん水管理やハウス内環境の改善に努めます。
- 4 不織布ポット栽培では、かん水量を「桃太郎8」より多めに管理します。

### 【4 適応対象】

- 1 地域：県内雨よけトマト（地床栽培、ポット栽培）の産地
- 2 対象者
  - (1) 本品種を利用して、農薬散布回数の削減及び安定生産を目指す生産者
  - (2) 本品種の導入を予定する産地の指導担当者または生産者

### 【5 導入のメリット】

- 1 薬剤防除回数の削減により、環境に優しい農業への取り組みが促進される。
- 2 安定生産による単収向上が可能となる。
- 3 つる下げ回数が1~2回削減できる。